

「心の善さとは」自問自答を読んで

六年生

質問 読み終わってから、どんな気持ちですか？

すごく意外な結末で、おどろきました。また、清々しいような気持ちになりました。私の印象深い場面は、十三・十四ページの止まらないなみだについてです。「あかまみれのきたない着物を急に晴れ着に着せ替えられたように」という表現が、すてきだな、と思いました。

質問 かしらは、なぜぬすみやめたのでしょうか？

男の子に（初めて）信用されたり、子牛にもなつかれて美しい心になったからだと思います。そして、男の子に返そうとして行った村役人がきさくで、やさしい心の善い方だったからだと思います。こういう環境に加え、自分を見直し、変えられたかしの決心が、すごいと思いました。

質問 「心の善い人」は、どんな人？

村役人の老人が「心の善い人」なら、他人のことを信じる人だと思います。でも、私はこれを優しい人と同じことだと、思ってしまう。この正解はあるのでしょうか。

「目覚めよ、勝利のために」を読んで

六年生

子「周囲の人々と心を通い合わせ、自分自身の考えや気持ちを豊かに表現できる本物の「人間」にならなければ、困難にぶつかったときに、自分の力でそれを乗りこえていくことはできない。」これが心に残りました。なぜなら、サッカー以外のスポーツでもスポーツじゃなくても大事なことからです。「自分の力」というのは、周りの人たちとの関係もえいきょうしてくると思うので、意識してみようと思いました。

親 日本では、サッカーの監督として有名なトルシエ。しかしトルシエは、日本のサッカー選手の恵まれた環境は、人物的な成長を遅くする事に、気づいたのですね。私たちも日々、当たり前のように、水・電気・食糧など「あるもの」として考えています。防災意識を高めなければいけないです。もしそれが不足した時どのように生活したら良いか。アフリカなどはまだまだ貧しい国も多いです。私たちは、食糧（食品ロス）をなくしていき、適量の食事を日々、食べるよう、心がけていかなければならないと。

「ライオンキング」を読んで

六年生

(親)

今回初めて本のライオンキングを読んで、子供の頃見た、デイズニーのライオンキングを思い出しました。

父の弟のスカーは自分が国王になれなくておもしろくない気持ちでは分かるが、シンバを利用して王の座をうばおうとしたり、自分で行うのではなくハイエナ達に行わせているのでよくないと感じました。そしてスカーがムファアサを谷からつき落とすシーンでは、とても怖い場面だなと今でも覚えています。自分のせいで父親が死んでしまったと思うと仲間達の所に帰りづらい気持ちもよく分かりました。でも、ナラと再び再会する事が出来たので本当に二人の運命の二人なのだと思います。父親は死んでしまったけれど、自分のせいで死んだわけではないという事も分かったし、王になる事もできたのでハッピーエンドに終わってよかったです。

(子)

今日、初めてライオンキングを読んでスカーは、ムファアサを殺したからわるいやつだろうと思いました。

お父さんのムファアサ王は、シンバがきけんなじょうたいの補助に行ったり、シンバがサズーとナラをきけんにさらしてしまった時に、ムファアサがシンバの事をしかりせず、シンバの背中をおしつづけていて、いまいな父親だと思いました。シンバたちが幸せに暮らせてよかったなと思いました。



「ライオンキング」を読んで

六年生

(親)

一緒にこの物語を読んだ時、シンバ達がどうやって成長して、自分の未来と向き合うかを見つめよう。シンバの勇気や、家族の愛を感じながら、私たちも何かを学べるかもしれないね。

(子)

そうだね。シンバみたいに強くなってみたいけど、シンバも怖かったのかな？

(親)

そうだね。最初は怖かったけど、不安を乗り越えて、自分の役割を果たしたんだよ。だから、時には、勇気を出して、自分の道を見つける必要があるんだよ。

(子)

そうなんだ。時には、勇気を出すことも必要だね。

(子)

ムファアサが言っていたように、生命はつながっているということ、生きている中で、すごく大切なことだよ。

(親)

そう。ムファアサが教えてくれているのは、どんなに強くても、他の命や、自然を大切にすることだね。

(子)

「ハクナ・マタタ」というアフリカの言葉で、「くよくよするな！」という言葉みたいになるく生きていこうと思った。あと、スカーみたいな人にはなりたくないと思った。

「目覚めよ、勝利のために」を読んで

六年生

(子)

元々日本は色々な国に敗れていたのにトルシエの指導一つで成長し勝利を収めていたし、トルシエのおかげで日本人選手が自分自身の気持ちや考えが表現できる人間に近づいていきいプレーができる選手になっていったのがすごいと思いました。トルシエは、就任した後「ワールドカップでベスト十六に入るチームを作ってほしい。」と日本協会がトルシエに望んでいてそのトップ十六に入るのは簡単なことではないし、そのときの日本もあまり強くなかったのに日本人選手をベスト十六に入りにロシアにも勝利できたのは自分自身の成長もそうだけどトルシエの指導も日本の勝利のために貢献したから日本がこのような結果を出せて勝てたことがすごいなと思いました。

(親)

トルシエ監督の今までになかった新しい視点からの指導で見事に勝利した日本チームはトルシエ監督なしでは、今の日本代表選手にもつながらなかったのかもしれないと思いました。また、そういった今までされたことのない指導にもついていった日本選手の方々もすばらしいと思いました。

「ライオンキング」を読んで

六年生

百獣の王の強いライオンも、まわりに支えられながら生きているんだ。これがこの本を読み終えての感想でした。王の子シンバは父を殺されましたが、友だちや先輩に助けられ、励まされ立派なライオンへと成長しました。特に森の賢者であるラフィキの「辛い過去の出来事から逃げるか、何かを学びにとって立ち上がるかで、そいつらの価値が決まる」という言葉は、シンバを大きく励ましたと思います。ぼくもテストで失敗したり、友だちとけんかをして傷ついたことがあります。親が話を聞いてくれ、一緒にどうしたらよいか考えてくれると、辛さがふきとび明日からまた頑張ろうと思えることがあります。辛い出来事を取りこえるのは大切なことですが、そのためには周りに助けってもらうことも大切です。一人だったらのりこえられないようなことも、周りの人と話すことで元気が出る。このことを気づかせてくれたこの本に出会えてよかったと思います。そしてまわりへの感謝の気持ちを忘れず、これからいろいろなことをがんばろうと誓いました。